

## 踏 み 跡 < My mountains >

奥多摩	日原川鷹ノ巣沢廻行	No.086
-----	-----------	--------

昭和42年5月29日

加藤と立川駅で落ち合い、7時10分発の青梅線に乗車。恩田も同行の予定だったが、風邪をひき欠場。氷川着は8時20分。日原行のバスはまだ一時間余裕があるのでベンチで食事。空は白雲ほのぼのとうれしい青空。9時35分発のバスで日原川を廻り日原へ。日原着は10時05分。

本流を渡って鷹ノ巣沢出合いに10時15分。

出合からすぐに5mのナメ滝が登場。ホールドはあるが苔が多くてかなり難しい。

くの字形の滝とその前後のゴルジュがなかなか素晴らしい。

新緑とヒンヤリとした水の感触の中をしばらく進むと今度は砂地。そしてその次に大物 20mの大滝。

右直登を狙ったが、苔でホールドはまったく駄目。仕方なく高巻き。立派な滝で、しぶきが目にしみてただけでもうれしくなる。

大滝の上の山葵畑の中の二股で昼食、12時10分。万緑の中に躑躅の赤さを楽しみ12時40分出発。

二股から藪に入り、巳の戸沢側へ巻いて藪こぎ。

金左小屋の山葵畑付近から倒木も現れ、最後のツメが丈2mほどの笹藪。磁石を見ながら南西へ南西へグイグイ藪こぎ。突然目の前がパツと開けて石尾根に飛び出した。15時50分。

藪こぎを終えて稜線に飛び出して現在地がわかった時は、何だか途方もなくうれしいものだ。

鷹ノ巣山(1736.6m)16時着。20分ほど休んだ後農大生ワンゲルしごき事件で死んだ人の墓を見て、石尾根を氷川へ一直線の下り。氷川駅に18時50分に到着。

笹藪でダニが体に付いてしまい、下山後一週間ぐらい悩まされた。

以上



(修正・更新:2023年11月)